

2020年6月18日
株式会社 ICC コンサルタンツ

新型コロナウイルスによる 留学への意識変化に関する調査結果概要

<本調査の概要>

- 調査対象：全国で留学に興味関心のある15歳以上とその保護者
- 回答方法：インターネット調査者
- 有効回答数：448名（内訳：渡航前 308名 渡航中 13名 帰国済 19名 保護者 108名）
- 調査実施期間：2020年5月14日～5月31日
- 回答者詳細：
 - 所属別
社会人（学生・保護者を除く23歳以上） 73名、大学生・大学院生 177名、
短大生・専門学校生 4名、高校生 64名、保護者 108名、その他 22名
 - 興味のある留学タイプ別(渡航前308名を対象として集計)
大学 39%、海外インターンシップ 25%、大学院 15%、語学 10%、高校 6%、
ワーキングホリデー2%、海外ボランティア 1%、専門学校 0%、未定 2%

1: コロナ禍における環境変化は、留学したいというニーズに影響はない。行きたい気持ちに変わりがないと回答した人が99%。保護者は95%の割合で変化がないと回答。

まだ留学をしていないと答えた人に対する「新型コロナウイルスの影響で、あなたの留学に対する気持ちに変化はありましたか？」という設問については、「むしろ前よりも強く行きたいと思う」12%、「行きたい気持ちに変わりはない」55%、「少し躊躇はするが、行きたい気持ちに変わりはない」31%と回答しました。また、ほとんどの人が気持ちに変わりがないと回答しており、検討している留学に関係なく、特に影響がないことがわかりました。

【図1】（小数点第一位を四捨五入しているため、合計は100%にならない場合があります。）



【留学検討者本人】 99%

留学を検討している本人は、「むしろ前よりも強く行きたいと思う」15%、「行きたい気持ちに変わりはない」53%、「少し躊躇はするが、行きたい気持ちに変わりはない」31%と回答し、全体の99%が気持ちに変化がないと回答しました。

【保護者】 95%

また、留学をしていないと答えた人のうち、保護者の回答に注目すると、「行きたい気持ちに変わりはない」61%「少し躊躇はするが、行きたい気持ちに変わりはない」34%と、回答した保護者の95%が留学へ送り出す気持ちに変化がないと回答しました。

2: 新型コロナウイルスが収束したら留学をしたいと考えているが、オンライン留学への意欲も3割以上。保護者がよりオンラインへの意欲が高い。

まだ留学をしていないと答えた人に対する「新型コロナウイルスの影響で、計画していた留学が中止になった場合はどうしますか？」という設問については、「コロナウイルスが収束したら留学したい」66%、「オンラインを活用した留学でもいいのでチャレンジしたい」11%、「オンラインでの留学経験をしてから、新型コロナウイルスの収束後に留学したい」23%という回答結果でした。

【図2】



【オンライン学習の活用にも意欲的】 33%

このうち保護者を除くと、「オンラインを活用した留学でもいのでチャレンジしたい」10%、「オンラインでの留学経験をしてから、新型コロナウイルスの収束後に留学したい」23%という回答しました。

【保護者もオンライン学習の活用に賛同】 35%

また、留学をしていないと答えた人のうち、保護者のみの回答を見ると「オンラインを活用した留学でもいのでチャレンジしたい」12%、「オンラインでの留学経験をしてから、新型コロナウイルスの収束後に留学したい」23%という回答しました。

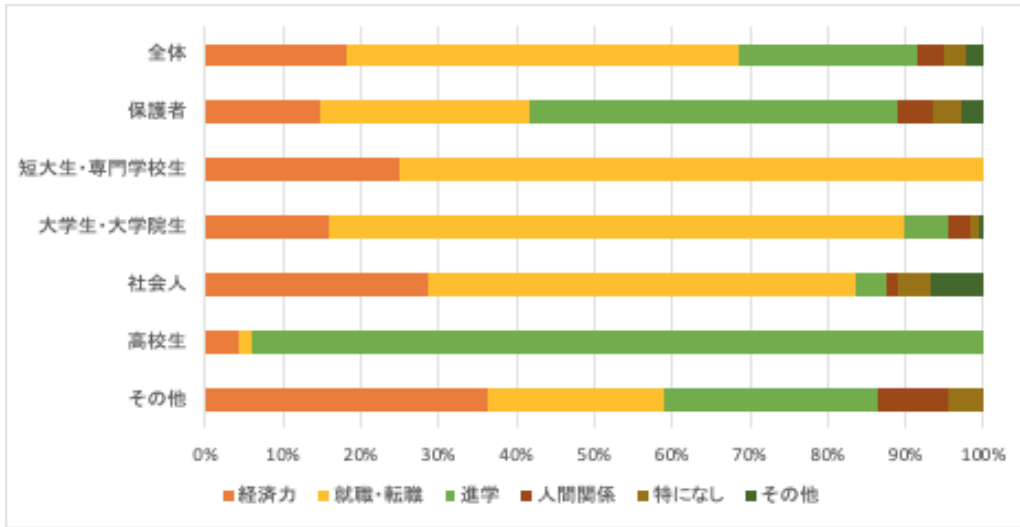
3: 7割以上が進路への不安。高校生は、「進学」、大学生・社会人は共に「就職・転職」が一番多い回答となった。

「今後の将来について、あなたが不安に思っていることは何ですか？※1つ回答してください。」という問いには、全体の73%が「進学」「就職・転職」と回答。以降多い順に、「経済力」18%、「人間関係」3%と挙げている。

最も不安に感じていること（回答者群別）

- | | | |
|-------------|---------|-----|
| ・ 社会人 | 「就職・転職」 | 55% |
| ・ 大学生・大学院生 | 「就職・転職」 | 74% |
| ・ 短大生・専門学校生 | 「就職・転職」 | 75% |
| ・ 高校生 | 「進学」 | 52% |
| ・ 保護者 | 「進学」 | 47% |
| ・ その他 | 「経済力」 | 36% |

【図3】



4: 新型コロナウイルスの事態により、一層今後は自分のスキルや能力を高め ていく必要性を感じている人が多数。

アンケート回答者全員への、「今後の社会（新型コロナウイルスが収束した後）において、これまでよりも人材としてのスキルや能力が求められると思いますか？」という設問に対して、「より一層のスキルや能力が求められると思う」76%、「これまでと変わらず、求められると思う」23%、と回答者は自己研鑽の必要性を強く意識しています。なお、「これまでよりも、スキルや能力は求められないと思う」は1%でした。

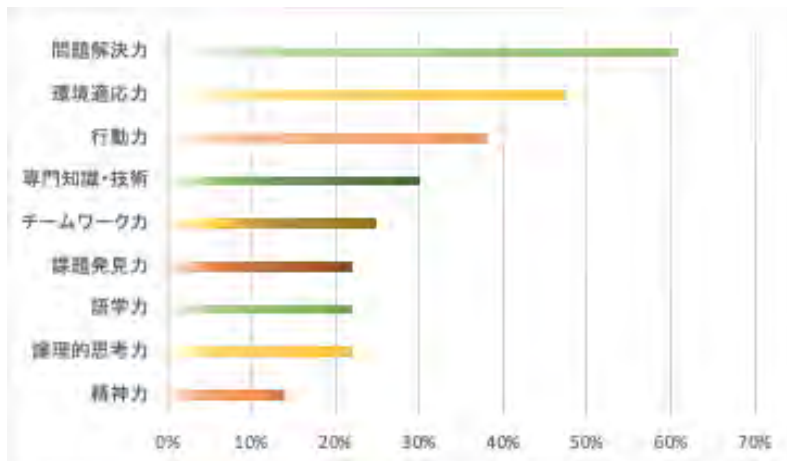
【図 4】



5: 全回答者の6割が「問題解決力」をアフターコロナの必須スキルと認識。

「今後の社会において、どのような資質を持つ人材が必要とされると思いますか？※3つまで回答を選択してください。」という設問に対して、「問題解決力」61%、次いで「環境適応力」48%、「行動力」38%と回答しました。

【図5】



※集計対象外の64名を除いた384名を対象として集計しています。

6: 留学は成長の糧になると回答している人は全体の9割。

アンケート対象者全員に対する設問、「留学は今後のあなたの成長に影響を与えますか？」に対しては、「強くそう思う」と回答した人は91%、「どちらかといえばそう思う」が8%、「あまりそう思わない・全くそう思わない」は合わせて1%でした。

【図6】



<以上>

詳細レポート、及び各種取材に関しては、下記までお問い合わせください。

株式会社 ICC コンサルタンツ

広報担当：万出（まんで） 恵

megumi_mande@iccworld.co.jp

電話：03-6434-1314（10:00～18:30、土日祝日を除く）